



2020年7月28日

各 位

会 社 名 日産車体株式会社  
 代表者名 取締役社長 吉村 東彦  
 (コード番号 7222)  
 問合せ先責任者 総務部部长 中津川 隆則  
 (TEL. 0463-21-8001)  
 当社の親会社 日産自動車株式会社  
 (コード番号 7201)

## 2021年3月期 通期連結業績予想及び配当予想に関するお知らせ

当社は、2020年5月14日公表の「2020年3月期 決算短信」において未定としておりました2021年3月期(2020年4月1日～2021年3月31日)の通期連結業績予想及び配当予想について、以下のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 通期連結業績予想について

2021年3月期 通期連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

	売 上 高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A)	—	—	—	—	—
今 回 発 表 予 想 (B)	346,500	△3,700	△2,200	0	0.00
増 減 額 (B-A)	—	—	—	—	—
増 減 率 (%)	—	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期)	498,831	9,303	9,802	5,827	43.02

(業績予想の理由)

新型コロナウイルス感染症の影響により、合理的な算定が困難であったため未定としておりましたが、現時点で入手可能な情報に基づき算定した結果、上記のとおり業績予想を公表いたします。

当連結会計年度前半における当社グループの主たる事業セグメントである自動車関連については、一部の海外部品の調達などサプライチェーンの影響による生産調整をはじめ、景気の急減速による経済活動への深刻な影響により新車販売が低迷しており、大幅な台数減少による売上高の減少や、生産性の大幅な悪化により前期実績を大きく下回る見込みであります。一方、当連結会計年度末にかけては、経済の回復に伴い当社の生産台数につきましても徐々に回復していくと見込んでおります。なお、今後の感染症の収束状況に応じて、大きく変動する可能性があります。

## 2. 配当予想について

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
前回予想	円銭 —	円銭 —	円銭 —	円銭 —	円銭 —
今回予想	—	6.50	—	6.50	13.00
前期実績 (2020年3月期)	—	6.50	—	6.50	13.00

(配当予想の理由)

当社の配当方針は、健全な収益基盤と財務体質を維持した上で、安定した配当を継続的に行うことを基本としています。新型コロナウイルス感染症の影響により、業績予想の合理的な算定が困難であったため未定としておりましたが、今回の業績予想も踏まえた結果、上記のとおり配当予想を公表いたします。

以上